

第2次

八千代市公共下水道事業経営戦略

実施計画

令和7年度取組状況

令和8年9月

八千代市上下水道局

目 次

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第2 実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第3 実施計画 個別取組み状況

- 取組み状況の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上
 - ①下水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・5
 - ②定員管理の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - ③民間資金・ノウハウの活用 of 検討・・・・・・・・・・7
 - ④広域化・共同化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - ⑤適正な資金管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - ⑥下水道使用料の検証・検討・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - ⑦災害復旧体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・10
 - ⑧公共下水道事業の広報・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 2 基本方針2 汚水の適正な処理
 - ①汚水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - ②汚水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - ③水質規制の指導・監督・・・・・・・・・・・・・・・・14
 - ④未接続の解消・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- 3 基本方針3 浸水対策の強化
 - ①雨水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・16
 - ②雨水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・17
 - ③雨水流出抑制策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・18
 - ④浸水被害の抑制・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
行政区域人口(A)	209,705 人	208,632 人	△1,073 人
整備区域内人口(B)	194,648 人	192,903 人	△1,745 人
水洗化人口(C)	193,238 人	191,589 人	△1,649 人
普及率(B/A)	92.8%	92.5%	△0.3%
水洗化率(C/B)	99.3%	99.3%	0.0%
年間総有収水量	17,443,615 m ³	17,663,424 m ³	219,809 m ³

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜き)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
収入(A)	3,615,637	3,752,572	136,936
うち下水道使用料	2,182,609	2,213,739	31,130
支出(B)	3,716,384	3,540,245	△176,139
純利益／損失(A-B)	△100,747	212,327	313,075

②資本的収支

(単位:千円 消費税込み)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
収入(A)	755,218	525,091	△230,126
うち企業債	624,300	413,400	△210,900
うち国庫補助金	13,670	13,670	0
支出(B)	1,691,416	1,401,544	△289,872
うち建設改良費	1,121,695	831,825	△289,870
資本的収支不足額(A-B)	△936,198	△876,453	

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
年度末企業債残高	7,791,002	7,583,725	△207,277

④資金残高

(単位:千円)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
年度末保有資金残高	1,769,055	2,224,762	455,707

※「第2次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画 令和7年度版」の計画との比較となります。

第2 実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

令和7年3月に策定した「第2次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画 令和7年度版」の令和7年度の取組項目に掲げていた全25項目の計画のうち、23項目を計画どおり実施し、1項目を計画どおりではありませんが実施し、1項目は計画に掲げたものの申請がありませんでした。また、令和7年度の取組み計画としていなかった1項目について、実施しました。

実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかった

－：令和7年度における計画がない ※：令和7年度における計画がないが実施した

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①下水道施設の計画的・効率的な管理			
ストックマネジメント計画に基づく改築（管路施設）	－	A	5
ストックマネジメント計画に基づく改築（ポンプ場施設）	－	※	5
ストックマネジメント計画の策定	－	A	6
②定員管理の適正化			
定員管理計画の推進	－	A	6
③民間資金・ノウハウの活用を検討			
委託の拡大等の検討	－	A	7
先進事例の調査・研究	－	A	7
④広域化・共同化の検討			
広域化・共同化計画策定	－	A	8
⑤適正な資金管理			
期中における資金管理の徹底	－	A	9
⑥下水道使用料の検証・検討			
汚水量・使用料収入・財務状況の確認・分析	－	A	9
⑦災害復旧体制の強化			
災害時を想定した訓練の実施	－	A	10
下水道BCPの運用	－	A	10
⑧公共下水道事業の広報			
やちよ上下水道だよりの発行	有	A	11

◆基本方針2 汚水の適正な処理

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①汚水施設の整備拡充			
未整備箇所の整備	—	—	12
次期整備箇所の検討	—	A	12
②汚水施設の維持管理			
管渠・マンホールポンプの維持管理	有	A	13
不明水対策	有	A	13
ポンプ場機械修繕	—	B	14
③水質規制の指導・監督			
特定事業場の立入調査	有	A	14
④未接続の解消			
訪問・調査	有	A	15

◆基本方針3 浸水対策の強化

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①雨水施設の整備拡充			
大和田地区（八千代台北）雨水排水整備	—	A	16
大和田地区（旧大和田公民館前）雨水排水整備	—	A	16
②雨水施設の維持管理			
水路の浚渫作業	有	A	17
調整池の維持管理	有	A	17
③雨水流出抑制策の推進			
開発行為などを進める民間事業に対する雨水の流出抑制	—	A	18
④浸水被害の抑制			
土のうステーションの点検	有	A	19
水位警報装置の動作試験	有	A	19

第3 実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方

年度別実施計画

実施計画（令和7年度版）に記載している令和7年度からの実施計画を記載しています。

実施状況

- A：計画どおり実施した
- B：計画どおりではないが実施した
- C：実施できなかった
- －：令和7年度における計画がない
- ※：令和7年度における計画はないが、実施した

(例)

取組項目	管渠・マンホールポンプの維持管理				
取組目的・内容	管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃及び打音や目視調査の結果を踏まえて管渠等の修繕を行い、機能の保全を図ります。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃
実施状況	B				
R7 年度実施内容	汚水管渠及びマンホールポンプの点検結果に基づき、以下のとおり実施しました。 ・汚水管渠修繕：15 箇所				
R7 年度目標設定	管渠修繕箇所数		目標値	実績値	
			30 箇所	15 箇所	
B評価の理由	想定よりも破損等が少なく、修繕箇所数の目標値を達成できませんでした。 このため、実施状況をB評価としました。				

目標設定

実施計画において数値目標を設定しているものについては、「目標設定」、「目標値」、「実績値」を記載しています。

Bまたは「－」評価の理由

実施状況がA評価とならなかった取組みについて、理由を記載しています。

1 基本方針 1 公共下水道事業の運営基盤の向上

①下水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	ストックマネジメント計画に基づく改築（管路施設）				
取組目的・内容	永続的に安定的なサービスを持続させるために、下水道施設の現状を分析するとともに、今後、標準耐用年数 50 年を超過する下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。令和元年度に策定した「八千代市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の改築を進めていきます。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・ 改築実施設計	・ 改築実施設計 ・ 点検，調査 ・ 工事（八千代台地区他汚水管渠）	・ 工事（八千代台地区他汚水管渠・地区未定雨水管渠） ・ 点検，調査	・ 点検，調査 ・ 工事（地区未定汚水管渠・地区未定雨水管渠）	・ 点検，調査 ・ 工事（地区未定汚水管渠・地区未定雨水管渠）
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	以下のとおり，詳細設計を実施しました。 汚水管渠 更生工法 φ 800mm 未満 L=282.46m 更生工法 φ 800mm 以上 L=79.50m 雨水管渠 更生工法 □1950 L=48.40m				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	ストックマネジメント計画に基づく改築（ポンプ場施設）				
取組目的・内容	P.5 の取組項目「ストックマネジメント計画に基づく改築（管路施設）」の取組目的・内容と同じ				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
		実施設計（村上第 2 污水中継ポンプ場）	工事（村上第 2 污水中継ポンプ場）	工事（村上第 2 污水中継ポンプ場）	・工事（村上第 2 污水中継ポンプ場） ・調査（北部汚水中継ポンプ場）
実施状況	※				
R7 年度 実施内容	令和 8 年度に実施予定の村上第 2 污水中継ポンプ場改築実施設計で基礎資料として必要となる沈砂池室およびポンプ室の硫化水素濃度を測定しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	ストックマネジメント計画の策定				
取組目的・内容	永続的に安定的なサービスを持続させるために、下水道施設の現状を分析するとともに、今後、標準耐用年数 50 年を超過する下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	計画策定				計画策定
実施状況	A				
R7 年度実施内容	八千代市（第二期）公共下水道ストックマネジメント計画を策定しました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
—			—		

②定員管理の適正化

取組項目	定員管理計画の推進				
取組目的・内容	事業の推進に必要かつ適正な人員配置を図るため、令和 4 年度に策定した定員管理計画に基づき職員課と調整し、適正な人員配置に努めました。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和 5 年度から令和 11 年度までの定員管理計画を令和 4 年度に策定し、定員管理計画に基づき必要かつ適正な人員配置について職員課と調整しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	委託の拡大等の検討				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については, 導入を検討し, 事務の効率化や事業費の縮減を図り, 安定的なサービスを継続します。委託可能な業務や, 集約化が可能な業務について調査・検討を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・仕様・発注方法 の検討 ・委託業務の発注	仕様・発注方法 の検討	仕様・発注方法 の検討	仕様・発注方法 の検討	仕様・発注方法 の検討
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	汚水中継ポンプ場等維持管理業務委託について, 新たに小規模修繕を含め, 令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間の業務委託契約を締結しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	官民連携手法の先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
R7 年度実施内容	他事業体における包括委託の実施状況など, 官民連携導入事例の情報収集を行いました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
—			—		

④広域化・共同化の検討

取組項目	広域化・共同化計画策定				
取組目的・内容	本市は、千葉県が管理する印旛沼流域下水道の終末処理場において、他の事業体と共同で汚水処理を行っていますが、汚水処理の広域化・共同化について、千葉県が主体となり、千葉県及び県内全市町村で構成される検討会が設立され、令和４年度に千葉県汚水処理広域化・共同化計画が策定されました。本市では、下水道施設の維持管理業務などを主なメニューとして、取組を行っていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	計画に基づく 広域化・共同化 作業	計画に基づく 広域化・共同化 作業	計画に基づく 広域化・共同化 作業	計画に基づく 広域化・共同化 作業	計画に基づく 広域化・共同化 作業
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	千葉県が主催する意見交換会への参加等を通じて、調査・研究を進めました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑤適正な資金管理

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	今後増加する老朽施設の改修に多額の事業費を要することが見込まれるため、適正な資金管理による収入の確保と支出の抑制を図ります。 期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金の預入などによる利息の獲得と、企業債の借入に係る償還年数及び金利方式の検討等を行いながら、支払利息の低減を図ります。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	- 定期預貯金の利息の獲得 - 企業債利息の低減	- 定期預貯金及び有価証券利息の獲得 - 企業債利息の低減	- 定期預貯金及び有価証券利息の獲得 - 企業債利息の低減	- 定期預貯金及び有価証券利息の獲得 - 企業債利息の低減	- 定期預貯金及び有価証券利息の獲得 - 企業債利息の低減
実施状況	A				
R7 年度実施内容	定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入を行いました。預入先の選定は、複数の金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関とすることを原則とし、一部の金融機関に預入が集中することを避け、リスク分散を考慮した預入を行いました。 企業債利息については、金利が上昇する傾向であることを考慮し、適時借入を行うことで、利息の低減を図りました。				
R7 年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

⑥下水道使用料の検証・検討

取組項目	汚水量・使用料収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	平成 27 年 7 月に平均改定率 5.27%の使用料の見直し（改定）を行い、経営状況の改善を図りました。平成 27 年度以降は黒字を維持し、内部留保資金についても増加していますが、引き続き、収入状況や財務状況の検証を行い、適正な使用料水準の設定について確認・分析を行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A				
R7 年度実施内容	メータ検針等に基づく調定汚水量及び下水道使用料について、業態別の分析を行うとともに、前年度の決算状況により財務状況の確認を行いました。				
R7 年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

⑦災害復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定した訓練の実施				
取組目的・内容	地震などの災害により被災した下水道施設の短期間での復旧を可能とするために制定する「下水道ＢＣＰ（業務継続計画）」に基づく防災訓練を実施し、復旧体制の強化を行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和 7 年 7 月に上下水道局防災訓練を実施し、令和 8 年 1 月に八千代市災害対応訓練を実施しました。地震発生による初動対応訓練の実施及び汚水マンホールポンプの稼働停止を想定した応急復旧訓練,土のう詰替え訓練を実施しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	下水道ＢＣＰの運用				
取組目的・内容	防災訓練で判明した問題点について対策を検討したうえで、「下水道ＢＣＰ（業務継続計画）」の見直しを行っていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	上下水道局の防災訓練等において下水道ＢＣＰに基づく初動対応訓練を行い、その内容について確認し、内容の精査を行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑧公共下水道事業の広報

取組項目	やちよ上下水道だよりの発行				
取組目的・内容	下水道は市民にとって最も身近なライフラインの一つであるため、各種計画の策定・実施状況、使用料に関することなどの重要事項、下水道の重要性や適切な利用について、「やちよ上下水道だより」により広報を行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	発行	発行	発行	発行	発行
実施状況	A				
R7 年度実施内容	令和 7 年 7 月 15 日と令和 8 年 3 月 15 日に「やちよ上下水道だより」を発行し、道路冠水解消を目的とした雨水管の整備工事、埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けての本市の状況などについてお知らせしました。				
R7 年度目標設定	発行回数		目標値	実績値	
			年 2 回	年 2 回	

2 基本方針 2 汚水の適正な処理

①汚水施設の整備拡充

取組項目	未整備箇所の整備				
取組目的・内容	本市においても、近い将来に人口減少が見込まれているため、下水道などの基盤整備と料金収入のバランスを考慮して、効率的な汚水処理施設の整備を図ります。 宅地化された市街化区域に点在している未整備箇所等の整備を進めます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	污水管渠築造 工事	污水管渠築造 工事	污水管渠築造 工事	污水管渠築造 工事	污水管渠築造 工事
実施状況	—				
R7 年度実施内容	令和 7 年度実施内容なし				
R7 年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	
「－」評価の理由	汚水本管延伸を伴う公共樹設置の要望が無かったことから、污水管渠築造工事は実施しませんでした。 このため、実施状況を「－」評価としました。				

取組項目	次期整備箇所の検討				
取組目的・内容	西八千代南部地区の市街化区域への編入に合わせ、整備を進めます。西八千代南部地区の整備概成後、工業団地についても、下流に位置する印旛沼等の水質や、団地内企業のニーズ及び費用対効果等を確認しながら、整備を検討していきます。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	市街化区域への編入が検討されている西八千代南部地区について、市長部局と協議を行い、市街化区域編入後の下水道整備に向けた検討を行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②汚水施設の維持管理

取組項目	管渠・マンホールポンプの維持管理				
取組目的・内容	管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃及び打音や目視調査の結果を踏まえて管渠等の修繕を行い、機能の保全を図ります。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃
実施状況	A				
R7 年度実施内容	汚水管渠及びマンホールポンプの点検結果に基づき、以下のとおり実施しました。 ・汚水管渠通常清掃（昼間）：2078.6m，（夜間）：3 作業 ・汚水管渠緊急清掃（昼間）：12 作業，（夜間）：4 作業 ・マンホールポンプ清掃：9 回 ・汚水管渠修繕：15 箇所 想定よりも破損等が少なく、修繕箇所数の目標値を達成できませんでしたが、定期的な点検・清掃により機能の保全を図れたことから、実施状況をAとしました。				
R7 年度目標設定	管渠修繕箇所数	目標値		実績値	
		30 箇所		15 箇所	

取組項目	不明水対策				
取組目的・内容	汚水管渠に地下水などが流入するいわゆる「不明水」を減らすため、区域ごとに人孔蓋穴への侵入水対策を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）	・流量調査（地区未定） ・不明水対策関連補修（地区未定）
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	下水道マンホールの蓋穴にテープを貼ることで閉塞対策を実施し、マンホールの蓋を蓋穴がないものに交換しました。 また、流量調査に向けた状況把握のため、維持管理業務の中で流量の変動を確認しました。				
R7 年度 目標設定	人孔蓋穴閉塞対策箇所数	目標値		実績値	
		200 箇所		268 箇所	

取組項目	ポンプ場機械修繕				
取組目的・内容	老朽化する汚水中継ポンプ場の機械設備については、修繕計画に基づいて修繕を行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	村上第2汚水中継ポンプ場粗目スクリーン修繕	村上第2汚水中継ポンプ場細目スクリーン修繕	村上第2汚水中継ポンプ場汚水流入ゲート修繕	村上第2汚水中継ポンプ場ポンプ井攪拌機修繕	村上第2汚水中継ポンプ場揚砂機・沈砂分離修繕
実施状況	B				
R7 年度実施内容	令和6年度から令和7年度への繰越事業として、機械改良工事(汚水ポンプ, 吐出電動弁)を行いました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の理由	粗目スクリーン修繕については、設備を停止する必要があることから、ストックマネジメント計画に基づく修繕と併せて実施することを検討しました。 このため、実施状況をB評価としました。				

③水質規制の指導・監督

取組項目	特定事業場の立入調査				
取組目的・内容	民間事業者などが新たに特定事業場を設置する場合の除害施設に関する指導や特定事業場の排水の水質について立入調査を行うことで、管渠内への有害物質や油脂類の流入を防止します。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知
実施状況	A				
R7 年度実施内容	特定事業場への立入調査を実施し、調査結果の通知も行いました。排水基準値を超過した事業場については、文書による指導を行いました。				
R7 年度目標設定	年間延べ立入調査回数		目標値	実績値	
			12 回	15 回	

④未接続の解消

取組項目	訪問・調査				
取組目的・内容	公共下水道が整備された区域内における未接続世帯に接続を促すことにより、河川などの環境保全が図られ、下水道使用料の増収にもつながります。未接続世帯への個別訪問・現況調査を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	すべての未接続世帯に対し個別訪問を実施し、在宅されている場合は、啓発用パンフレットを使い早期に接続していただけるよう説明を行いました。不在の場合は、現地調査を実施しました。 なお、令和7年度は34件の未接続解消となりました。				
R7 年度 目標設定	訪問・調査件数		目標値	実績値	
			300 件	509 件	

3 基本方針 3 浸水対策の強化

①雨水施設の整備拡充

取組項目	大和田地区（八千代台北）雨水排水整備				
取組目的・内容	平成 25 年に発生した台風 26 号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代 1 号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、新たに管渠を整備します。 道路冠水などが多発する箇所（八千代台北）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	実施設計	整備工事	整備工事	整備工事	
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	以下のとおり、詳細設計を実施しました。 護岸詳細設計（片岸）L＝726m				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田地区（旧大和田公民館前）雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（旧大和田公民館前）について，排水施設の整備を進めていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	整備工事				
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	以下のとおり，管渠布設工事を実施しました。 推進工法 φ 400mm L=227.15m φ 500mm L=249.33m 開削工法 φ 500mm L= 5.60m				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②雨水施設の維持管理

取組項目	水路の浚渫作業				
取組目的・内容	水路の浚渫作業を行い、施設を適切に管理することで、大雨による浸水被害などを軽減します。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫
実施状況	A				
R7 年度実施内容	高津団地内排水路の浚渫を実施しました。				
R7 年度目標設定	浚渫作業回数		目標値	実績値	
			1 回	1 回	

取組項目	調整池の維持管理				
取組目的・内容	調整池放流口付近の清掃や調整池内の除草作業を実施し、施設を健全に保ちます。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・職員による調整池の点検・除草 ・業者による調整池内の清掃・除草	・職員による調整池の点検・除草 ・業者による調整池内の清掃・除草	・職員による調整池の点検・除草 ・業者による調整池内の清掃・除草	・職員による調整池の点検・除草 ・業者による調整池内の清掃・除草	・職員による調整池の点検・除草 ・業者による調整池内の清掃・除草
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	以下のとおり調整池（全 57 箇所）の維持管理を実施しました。 ・職員による点検：29 回/年（延約 1,500 箇所） ・職員による除草：48 回/年（延べ約 50 箇所） ・委託業者による調整池内の除草：6 箇所 調整池内の草が少なく除草回数は目標値を達成できませんでしたが、点検回数を計画よりも多く実施し、施設を健全に保てたことから、実施状況を A としました。				
R7 年度 目標設定	職員による調整池の点検・除草回数	目標値		実績値	
		点検回数 17 回/年 除草回数 70 回/年		点検回数 29 回/年 除草回数 48 回/年	
	業者による調整池内の除草箇所数	5 箇所		6 箇所	

③雨水流出抑制策の推進

取組項目	開発行為などを進める民間事業に対する雨水の流出抑制				
取組目的・内容	近年、局所的な集中豪雨や急速に進む都市化の進展に伴い、雨水排水施設の能力を上回る雨水による内水被害が発生しています。 これらの負荷を軽減し、内水被害を減少させるため、開発事業などを進める民間事業者に対して「八千代市雨水流出抑制指針（公共下水道編）」に基づく協議・指導を行い、雨水の流出抑制を図っていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	開発事業事前協議において「八千代市雨水流出抑制指針（公共下水道編）」に基づき、下水道計画における雨水排水施設の能力を超える事業地からの雨水流出について、雨水流出抑制施設の設置を行うよう協議・指導を行いました。事業者による施設の設置により、雨水の流出抑制を図りました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

④浸水被害の抑制

取組項目	土のうステーションの点検				
取組目的・内容	八千代 1 号幹線沿線地域等における大雨による浸水被害を抑制するため、土のうの配布や土のうステーションの管理を行っていきます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	A				
R7 年度実施内容	6 月～11 月の間、毎月 1 回土のうステーションの点検を実施し、土のうの補充や土のうの積み直し等を行いました。				
R7 年度目標設定	点検回数		目標値	実績値	
			6 月～11 月の間、毎月 1 回	6 月～11 月の間、毎月 1 回	

取組項目	水位警報装置の動作試験				
取組目的・内容	八千代 1 号幹線が警戒水位に達したことを知らせる水位警報装置（サイレン）の鳴動試験等を行っていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和 7 年 6 月 25 日に水位警報装置の鳴動試験を行い、正常に稼働したことを確認しました。				
R7 年度 目標設定	動作試験回数	目標値		実績値	
		1 回/年		1 回/年	

第 2 次
八千代市公共下水道事業経営戦略
実施計画
令和 7 年度取組状況

発 行 八千代市上下水道局
編 集 八千代市上下水道局 経営企画課
所在地 八千代市大和田新田 3 1 2 - 5
電 話 0 4 7 - 4 8 3 - 6 5 7 2 (直通)